

研修プログラム及び利用団体の自主活動のガイドライン

当交流の家は様々な団体が利用します。感染予防策を講じた上で、お互いが気持ちよく利用できるように活動場所や時間を適切に設定し、活動してください。

なお、本要領は、令和2年5月29日の状況に基づき作成したものであり、今後の社会的状況や国・県の方針を踏まえ、今後適宜更新します。

○ 交流の家の研修プログラムで活動する場合

全ての研修プログラムで次の点に留意して活動を計画してください。

- ・ 貸出物品は使用後に必ず消毒する。
- ・ いずれも活動時間は60分を超えないようにする。(60分を超える場合は10分間以上の休憩を入れる。)
- ・ 常時換気可能な環境のみで実施する。
- ・ 研修前後のうがい、手洗い、手指消毒は必須とする。
- ・ 活動前後の全体説明や振り返り等は、クラス単位、小グループで行い、40名を超える人数が一か所に集合する機会を無くすようスケジュールや内容を工夫する。
- ・ 活動中に使用したティッシュやペーパータオル等は、引率者に配布するビニール袋(黒またはピンク)に捨てる。

[各研修プログラムの対応策]

研修プログラム名	対応策
カッター研修	<ul style="list-style-type: none"> ・乗船前，乗船後の船内，櫂等の次亜塩素酸消毒 ・乗船前後の研修生の手指アルコール消毒 ・集合時，安全指導中はマスク（タオル・バンダナ等での鼻口部を覆うもの）を着用する。（唾液等の飛沫防止） ・服装確認，艇庫内指導の内容は，出発前に研修室等でパワーポイント資料を視聴する。 ・注意事項のみ，規律指導なし（艇庫内指導は必要最低限） ・洋上研修中のマスクの着用は，熱中症対策に十分注意する。 ・電子ホイッスルによる号令（大声での指導・掛け声等の発声は不可） ・洋上研修は60分以内（宮島，似島の「1日コース」不可） ・櫂は1人1本，1艇は12名までとする。 <p>※1回の研修で，小学生は5艇（58名），中学生以上は6艇（72名）まで可能。上記の定員を超える場合は，1日目午後，2日目午前のように複数回に分けて実施する。</p>
野外炊事	<ul style="list-style-type: none"> ・第1，第2野外炊事場は，各40名まで（10名以下の4グループまで） ・マスク，ビニール手袋，割りばし，紙皿，紙コップ，スプーン，（使い捨てができるもの）消毒液（予備）を団体が持参する。 ・器具は，複数で使用しない。配膳を交代する場合は必ず手指を消毒する。 ・使用後の調理器具の消毒も十分に行う。 ・火つけは，原則1かまど1人ずつとし，鍋で湯を沸かす際には，薪を1かまど（または2かまど）に集約する。（やけど注意） ・調理工程をなくすため，レトルト食品（カレー等）を使用する。 レトルトビーフカレーセット（1セット420円） 内容：ご飯（200g），レトルトカレー（200g），福神漬け ※ご飯は炊いた状態でフードバックに入れ提供 ※使い捨てスプーン付き ※カレーの辛さは甘口，中辛，大辛から選択可能 ※その他では，親子丼，麻婆豆腐（以上，同価格），牛丼（+200円増し） ・薪や落ち葉を用いた「焼きいも体験」等の可能（要相談）
カヌー水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・各最大40名まで ・ボディは接触を避け，目視による安全確認を行う。 ・安全指導，準備運動は研修室等で行う。 ・間隔を空けてのシャワー

ウミホテル観察 海辺の生物観察 海辺の遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・各最大 50 名まで ・接触を避け、観察は一人ずつ行う。 ・全員 1 人 1 枚資料を用意する。（「探検バッグ」等の個人用バインダー持参）
江田島焼 江田島クラフト カードスタンドづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・第 8 研修室は 40 名まで、クラフト室は 20 名まで（第 8 研修室の長机に 1 名、クラフト室の作業机に 2 名まで） ・研修生同士の作品及び道具等での間接的な接触を避ける。 ・道具の貸し借りや受け渡し、個人以外の物品の使用は不可とする。（やむを得ない場合は必ず消毒してから使用する。）
ディスクゴルフ 所内ビンゴ ウォークラリー オリエンテーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・5 名以内で 1 m 以上の間隔を取りながら班ごとに移動 ・道具の貸し借りや受け渡し、個人以外の物品の使用は不可 ・全員 1 人 1 枚マップを配布（「探検バッグ」等の個人用バインダー持参）
カブラ/ドミノ	<ul style="list-style-type: none"> ・実施不可（要相談）
インドアクッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・1 チーム 3 名以内 ・活動前後の手指消毒及び活動後の物品消毒
ファイアのつどい キャンドルのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ・身体接触や発声を含むゲーム、ダンス、スタント等（いわゆる“第 2 部”）は不可とする。 ・1 m 以上の間隔を取り、内容も厳かな儀式や火を見つめて自己を振り返る時間を中心とする。
水晶山登山	<ul style="list-style-type: none"> ・最大 40 名までとし、全員軍手着用
古鷹山登山	<ul style="list-style-type: none"> ・危険回避以外の接触は避ける。
どんぐり広場 丸太広場	<ul style="list-style-type: none"> ・最大 10 名までとし、全員軍手着用 * 引率者等を含む

※ 上記以外の研修プログラムの実施は、事前にご相談ください。

○ 利用団体の自主活動(交流の家の研修プログラム以外)

利用団体が自主的に行う活動については、どの活動においても「3密を回避する対策」を前提に内容を計画してください。

- ・密閉(屋内の場合、1 時間ごとに換気する。)
- ・密接(お互いに手が届く距離で会話・発話・運動を控える。)
- ・密集(前後左右で約 2 m の間隔を確保する。)

1 文化系活動及び学習や講義等を実施する場合

- ・使用後の消毒が難しい消耗品(チョーク等)や活用物品(筆記用具、スケッチ道具等)について

は、必要に応じて各団体でご用意ください。

- ・ 研修室の机は1人1台で使用し、隣や前後の間隔を1m以上取ってください。
- ・ 挨拶や台詞を大きな声で発する、いわゆる「声出し」等は、屋内、屋外問わずお控えください。
- ・ 合唱や合奏等は、他の団体への迷惑にならないよう活動場所や時間を適切に設定し、極力個人で活動してください。パート練習等は、必ず2m以上距離を取り、向き合わずに行ってください。全員が揃っての合唱や合奏等はお控えください。

2 運動やスポーツ活動を実施する場合

- ・ 代表者の方や引率・指導される方は、『「安全に運動・スポーツをするポイントは？」の改正について(スポーツ庁健康スポーツ課・令和2年5月22日改訂)』やそれぞれの団体に関係する協会や連盟が定めた指針、ガイドライン等を参考にして活動してください。
- ・ 館内備品(バレーボール・バドミントン用ネットや支柱、フットサル用ゴール等)を除き、団体が使用するラケットやボール等の物品については、必要に応じて各団体でご用意ください。

3 定員を制限する施設(目安)

各研修室等…定員の半数

- ・ 第1, 2, 3, 7研修室…20名まで, 第5, 8, 10研修室…40名まで,
第4, 9研修室…14名, 第6研修室…10名まで
- ・ 体育館…運動50名まで 運動以外100名まで
- ・ 講堂…運動40名まで 運動以外80名まで
- ・ 武道館, 海洋科学室…運動20名まで 運動以外40名まで
- ・ キッズスペース…利用禁止
- ・ グラウンド…200名まで
- ・ 野球場…100名まで
- ・ テニスコート…試合形式の活動, 練習等において1コート4名以内での利用

※ 使用後は、高頻度接触部位(テーブル, 椅子の背もたれ, ドアノブ, 電気のスイッチ, 内線電話, 窓のサッシ等)の消毒にご協力ください。